

会 議 録

会議名	平成 30 年度第 3 回東浦町文化財保護審議会	
開催日時	平成 31 年 3 月 19 日 (火) 午後 1 時 30 分から午後 3 時まで	
開催場所	東浦町郷土資料館 講座室、常設展示コーナー、乾坤院山門	
出席者	委員	石原弘幸氏、河合美三男氏、鬼頭秀明氏、鈴木勝美氏、田中央氏、高部淑子氏
	事務局	恒川教育長、河合教育部長、磯村生涯学習課長、楠文化財係長、菅沼主任
欠席者	福岡猛志氏	
議題等	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ 3 乾坤院山門屋根修理事業について 4 郷土資料館常設展示替え事業について 5 その他 	
傍聴者の数	なし	
審議内容	<p>◆開会 次第に従い会議を開会する。</p> <p>◆あいさつ 石原会長が、乾坤院お涅槃のこと、資料館常設展示替えの内容に触れあいさつ。教育長が常設展示替え及び堅雄堂露盤木製しおりのことに触れあいさつをする。</p> <p>◆事務局 会議の進行を会長に願います。</p> <p>◇会長 次第に従い議事を進める。 次第 3 「乾坤院山門屋根修理事業について」事務局へ説明を求める。</p> <p>◆事務局 平成 30 年度事業として実施した乾坤院山門屋根修理の詳細、町補助金につき説明。鈴木委員から、今回の修理で発見された棟札・墨書や乾坤院の古文書などから、現山門以前に旧山門があったことなど新たに分かったことを説明する。</p> <p>◇会長 事務局の説明に対し、意見を求める。</p>	

◇委員

山門修理の来歴から見て、屋根修理を銅板一文字葺で行ったため、今後100年保つと思われる。

◇会長

次第に従い議事を進める。
次第4「郷土資料館常設展示替え事業について」事務局へ説明を求める。

◆事務局

平成30年度事業として実施し、平成31年3月1日にリニューアルオープンした郷土資料館常設展示替えにつき、新たな展示内容、業者選定方法、展示テーマの詳細を説明する。

◇会長

事務局の説明に対し、意見を求める。

◇委員

企画展コーナーは、企画展がないときは何もない状態か。

◆事務局

大きな企画展が年2回あり、その間もミニ企画展があつて、常に何かは展示していることになる。

◇会長

議事を終了し、事務局に進行役を返す。

◆事務局

次第4「その他」で、平成30年度から5年計画で東浦町文化遺産活用推進事業として文化庁文化芸術振興費補助金交付があつたことを報告。本年度から3年は、緒川地区の3つの屋形を修理し祭りを盛り上げる事業を合わせて行う。開始する前に、町内5地区保存会に声掛けをしており、これからも毎年そうして、毎年計画を見直すことを説明。

◇委員

東浦町の町のお祭りをどうしようか、という話し合いにつながると良い。

◇委員

町が指導して、東浦町全体の文化財計画を立て、町の文化遺産を使って町をどのように活性化するか、どう保存していくかを考えることが先だと思ふ。その上で、どの事業にどの補助金や資源を使うかを割り振る。やはり町がこの先文化遺産をどうするというのを打ち出すべき。
また、屋形の修繕は、文化財的な修復をするよう監督すべきである。

	<p>◆事務局</p> <p>本日の会議日程をすべて終了した旨を告げ、閉会とする。このあと常設展示と乾坤院山門の見学をする由説明。</p> <p>—常設展示と乾坤院山門視察後、解散—</p>
備考	なし